

新火葬場建設の事業手法

(青字：メリット、特徴 赤字：デメリット、課題)

| 手法                  | 従来手法 (分離発注方式)   | 火葬炉設備+DB+O方式   | DB+O方式   | DBO方式/PFI方式   |
|---------------------|---|--|--|---|
| 発注イメージ              |   |  |  |   |
| 市内事業者の参画 (設計・建設・運営) | ○ <b>可能性が高い</b><br>それぞれの業務が独立しているため、設計・建設・運営の各事業者は参画しやすい。                       | △ <b>可能性がやや低い</b><br>設計・建設の各事業者は、DB方式のリスク(概略設計による工事価格設定リスクや受注後の設計変更対応リスク等)に対する不安等から、参画に消極的である。 | △ <b>可能性が低い</b><br>共同企業体の要となる火葬炉設備メーカーが国内に数社しかなく、設計・建設の各事業者は繋がりが少ないため、各事業者にとって共同企業体を組成するハードルが高い。 | × <b>可能性が非常に低い</b><br>左記に加え、現状では火葬場の運営業務を行える市内事業者が複数存在しないため、設計・建設の各事業者にとって特別目的会社等の組成は非常に困難である。      |
| 運営業務を見据えた施設整備       | ○ <b>可能である</b><br>火葬場は事業性がなく定型的な業務が多いことから、現行の運営事業者等の意見を参考にすることで対応できる。           | ○ <b>可能である</b><br>同左   | ○ <b>可能である</b><br>同左   | ○ <b>可能である</b><br>設計段階から運営事業者の意見を反映することができる。  |
| コスト縮減の期待            | △ <b>設計・建設のコスト縮減は限定的である</b><br>設計段階での工夫によりある程度可能であるが、個別発注のため、創意工夫を發揮できる範囲が限られる。 | ○ <b>設計・建設のコスト縮減が期待できる</b><br>設計・建設を一括発注することにより、創意工夫を發揮できる範囲が広がり、設計・建設のコスト縮減が期待できる。            | ○ <b>設計・建設のコスト縮減が期待できる</b><br>同左   | ○ <b>設計・建設のコスト縮減が期待できる</b><br>設計・建設を一括発注することにより、創意工夫を發揮できる範囲が広がり、設計・建設のコスト縮減が期待できる。<br>会社設立費等が増加する。 |
| 概算事業費               | 約33.1億円   | 約31.9億円  | 約31.7億円  | 約31.7～32.1億円  |
| 整備期間                | ○ <b>短い(4年半程度)</b><br>事業者選定 半年程度<br>設計・工事 4年程度                                  | △ <b>やや長い(5年半程度)</b><br>事業者選定 1年半程度<br>設計・工事 4年程度  | △ <b>やや長い(5年半程度)</b><br>事業者選定 1年半程度<br>設計・工事 4年程度  | × <b>長い(6年程度)</b><br>事業者選定 2年程度<br>設計・工事 4年程度   |
| 工期短縮の期待             | ○ <b>現施設を稼働しながら建替える制約等があることや、個別発注であることを考慮すると、工期の短縮は望めない。</b>                    | △ <b>現施設を稼働しながら建替える制約等があることを考慮すると、一括発注による工期の短縮はあまり期待できない。</b>                                  | △ <b>同左</b>  | × <b>同左</b>   |
| 総合評価                | ○ <b>コスト縮減の期待は限定的であるが、市内事業者の参画可能性が最も高く、整備期間が短いため早期完成が望める。</b>                   | △ <b>コスト縮減は期待できるが、市内事業者の参画可能性がやや低く、整備期間もやや長い。</b>  | △ <b>コスト縮減は期待できるが、市内事業者の参画可能性が低く、整備期間もやや長い。</b>  | × <b>コスト縮減は期待できるが、市内事業者の参画可能性が非常に低く、整備期間も長い。</b>  |